















御門口 (うしろうぐち)

Ujio-kuchi

香焼御殿の入口で、神社でいえば拜殿にあたる所です。琉球最高の御殿ゆえに、ここから入場できるのは王府関係者に限られていました。右側には、御殿内にある六つの拜所を示す香炉が置かれ一般の人々はここで御殿の中に向かって拝みました。

This entrance of *Shio-uchi* applies to a shrine's hall of worship. Worshipped as the most sacred in the Ryukyus, entry to this *utaki* was limited solely to the royal government. Incense burners representing the six altars in this *utaki* were placed on the right for others to pray from the outside.



















寄 満 (ゆいんち)

Yuinchi

寄満とは首里城跡にある建物の名前で、国王のために食事を作る厨房を指します。当時、ここには国内外からの海産・山産があまりありました。それが、「豊穡の寄り満る所」と理解されていったのでしょう。同じ名前を持つ斎場御嶽のこの場所には、第二次世界大戦前まで、その年の吉兆を占う馬の形をした石(うまぐわいし)が置かれていました。

Yuinchi is the name of a building also located in Shuri-jo and refers to the cooking quarters that served meals to the king. During the kingdom era, seafood and produce were brought to these cooking quarters from Japan and abroad. The term Yuinchi held the meaning of "a place full of abundant harvest and abundance of fish." Here at Sefa-utaki, a horse-shaped stone that was used to predict yearly fortunes was placed in the Yuinchi till the beginning of World War II.

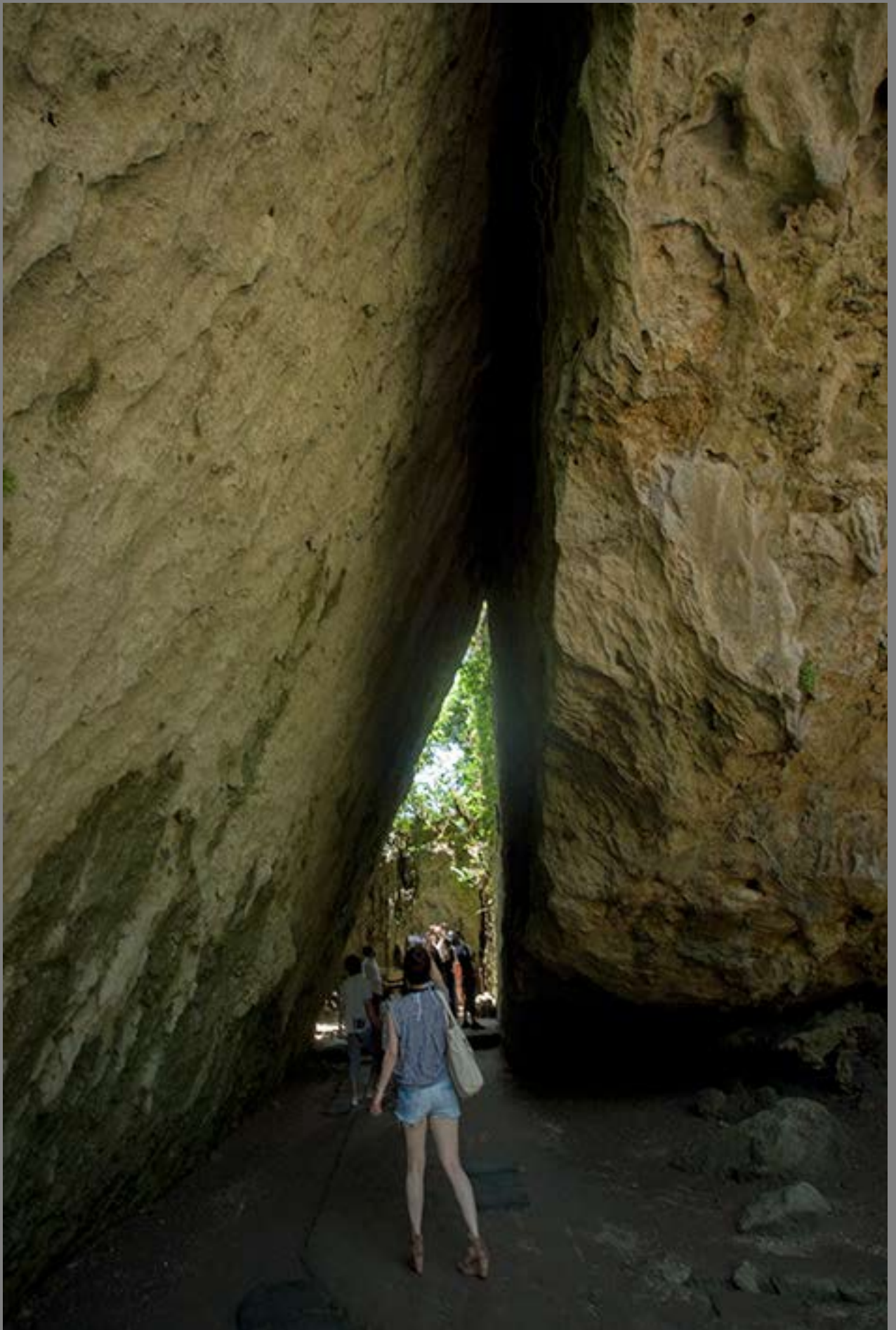
















久高島遥拝所

琉球王国の絶対的な存在である国王はまさに太陽であり、その太陽のあがる方向にある久高島は、東方楽土ニライカナイへの「お通し(遥拝)」所として

全国各地で崇拜されています。

琉球王国時代の久高島遥拝所は御門口下方にあります。かつて、いつしかこの場所が遥拝所として定着したことを受け、南城市としても保護しているものです。

沖縄県南城市教育委員会





シキヨダユルアマガヌビー(奥側)
アマダユルアシカヌビー(参道側)

二つの壺中にあるのは神聖な水です。
触れることは、ご遠慮ください。

沖縄県南城市教育委員会





